

2014 年 IARU サステイナブルキャンパス交換学生 派遣学生 学内募集要項

2014.05.30

1. 概要

本学が加盟する国際大学連合の一つ IARU (International Alliance of Research Universities; 国際研究型大学連合)における共同研究プロジェクト Sustainable Campus Project (以下 SCP)の活動に基づき、海外の加盟校 (2014 年は北京大学) においてサステイナブルキャンパス活動に携わる派遣学生 (主に大学院生) を募集します。

派遣先の北京大学においては、SCP 業務に関連した大学固有のプロジェクト、または IARU 共通のプロジェクトに関連した業務に従事します。また、派遣の前後に、本学における TSCP (東大サステイナブルキャンパスプロジェクト) 室の活動にも参加いただくほか、本学にて受け入れる IARU 他大学のサステイナブルキャンパス交換学生の活動の支援も行います。

2. IARU とは

将来の世界的リーダーを養成できる本学を含む世界有数の研究型大学 10 校が連携する国際研究型大学連合です。この枠組みの下、加盟大学間の共同研究プロジェクト、教員交流、学生交流など多岐にわたる連携を進めています。 <http://www.iaruni.org>

IARU 加盟大学 (10 大学)

オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、東京大学、イエール大学

3. IARU サステイナブルキャンパス交換学生の業務内容

IARU の共同研究プロジェクト SCP では、加盟国間で SCP 業務に従事する学生の交換プログラム Student Sustainability Fellowships and Exchange を行っています。交換学生はいずれかの加盟大学 (2014 年は北京大学) に派遣され、サステイナビリティや環境計画等をテーマとして、週に 35 時間以上のトレーニング (研修) を行うことが予定されています。終了後報告書を英語で作成していただきます。過去の学生の報告書は下記ウェブサイトにて閲覧できます。

<http://www.iaruni.org/grand-challenge/sustainability-fellowships>

また、派遣の前後に、本学における TSCP (東大サステイナブルキャンパスプロジェクト) 室の活動にも参加いただくほか、本学にて受け入れる IARU 他大学のサステイナブルキャンパス交換学生の活動の支援も行います。

4. 派遣期間と派遣先大学

派遣期間：夏季休暇期間中 (2013 年 8 月～9 月) の 6 週間程度 (予定)

※北京大学側の都合等により時期が変更になる場合があります。

派遣先大学：Peking University (北京大学)

派遣先プログラム：

なお、IARU Sustainability Fellow として北京大学に滞在する学生は、短期在籍学生として遇され、一般

学生と同様にキャンパス内の施設が利用できます。

5. 参加資格

以下の要件を全て満たすこと。

- (1) 申請時に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在籍しており、かつ派遣期間に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。派遣期間中に休学している者は参加できない。
- (2) 主に大学院生を想定しているが、学部学生の応募も可能。
- (3) 必ず派遣時の指導教員等にあらかじめ応募について相談し、了承を得ていること。
- (4) 英語と日本語の両方で意思疎通ができること。
- (5) 履修において不利益とならないよう、平成 26 年度夏学期の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。(東京大学として1名しか派遣できず、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失することにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。)
- (6) 参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がいない学生は、留学時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (7) 参加時に所属する予定の本学の部局の担当部署に相談し、申請前に参加に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請すること。

6. 派遣人数

本学からは1名の派遣学生を募集します。

7. 経費

派遣先大学での宿泊費は派遣先大学が負担します。また、往復航空賃及び食費相当額の助成金を本学から支給します。

8. 応募締切

応募締切：6月中旬～6月下旬頃

※所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

9. 応募方法

募集要項の「応募書類」欄に記載の応募書類一式(電子ファイル及び紙媒体)を現在所属する部局の応募締切日までに、現在所属する部局の担当部署へ提出すること。

9. 応募書類

【様式電子ファイル ダウンロード先】

東京大学Go Globalウェブサイト内のIARUサステイナブルキャンパス交換学生のページ

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/internship/iaru-scp.html>

下記の書類を電子ファイル及び紙媒体で所属部局の担当部署に提出してください。

【電子ファイルの送付方法】

以下のとおりメール添付で提出すること。

メールタイトル：(所属・氏名) 2014 IARU サステイナブルキャンパス交換学生申請

データファイル名：(1) 「(所属・氏名) 2014 IARU サステイナブルキャンパス申請書」

(2) 「(所属・氏名) 2014 IARU サステイナブルキャンパスエッセイ」

(3) 「(所属・氏名) 2014 IARU サステイナブルキャンパス英語書類」

(4) 「(所属・氏名) 2014 IARU サステイナブルキャンパス Application Sheet」

(1) サステイナブルキャンパス交換学生申請書 (日・英併記のこと)

(2) エッセイ (英文・書式自由・A4判1ページ程度)

以下の内容を含むものとしてください。

①サステイナブルキャンパス活動の意義についての考え

②今回の応募の動機と希望する活動内容

③自分の持っている能力が今回の派遣先の北京大学でどのように生かされるか、あるいは自分の能力が派遣によってどのように発展するか

④東大サステイナブルキャンパスへのこれまでの関与 (もしあれば)

(3) 英語能力を証明する書類

次のいずれかを提出すること。ただし、以下の書類がない場合でも申請は妨げない。

・以下の英語能力試験 (1つ以上) を受験している場合は、その証明書の写し：

TOEFL PBT/iBT/CBT、IELTS、TOEIC、実用英語技能検定

(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)

・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。(例：英語圏の高等学校を卒業、等)

(4) Application Sheet

※電子ファイル (署名前のもの) はエクセルファイルで提出すること。

紙媒体では署名後のものを提出すること。

10. 選考結果通知

学内選考後、7月上旬頃、所属部局長に対して選考結果を通知します。

11. 派遣決定後の留意事項

(1) 参加手続き及び渡航手続き等は、派遣先大学等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。

(2) 査証 (ビザ) 取得手続きは、派遣先大学の指示に従い、また派遣先国の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。

(3) 所属部局の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に

異なる。)

- (4) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (5) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (6) 本プログラムの趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げるよう努めること。
- (7) 本学から選抜された代表学生として海外の大学に派遣されることを自覚し、派遣先大学・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。
- (8) そのほか、東京大学が指示する注意事項に従うこと。

1 2. 留学後の報告等

- (1) 本プログラムによって指定された英語による報告書を提出すること。
- (2) また、来年度以降の参加希望学生の参考とするため、プログラム終了日から 2 週間以内（必着）に本部国際交流課が定める報告書（所定様式）を本部国際交流課へ提出すること。
- (3) 参加学生には、帰国後、東京大学の国際化に関する業務への協力（海外派遣プログラムの広報や学生へのアドバイス等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、できる限り協力すること。

1 3. 関連ウェブサイト

応募に際しては以下のウェブサイトも参考にしてください。

- ・IARU ウェブサイト内のサステイナブルキャンパス交換学生のページ

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/internship/iaru-scp.html>

- ・東京大学 TSCP 室

<http://www.tscp.u-tokyo.ac.jp/>

- ・東京大学 Go Global ウェブサイト

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/internship/iaru-scp.html>

1 4. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること：現在所属する部局の担当部署
各部局担当部署一覧：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>
- (2) その他一般に関すること：
本部国際交流課学生・研究者交流チーム
Email: studyabroad@ml.adm.u-tokyo.ac.jp
TEL: 03-5841-0772